

令和6年度 学校経営基本方針

佐世保市立早岐中学校 校長 近藤 隆生

1 教育方針

人間尊重の精神を基本とし、教育基本法及び長崎県教育方針、佐世保市教育方針を念頭に置き、学校教育目標の具現化及び重点目標の達成を目指す。生徒・教職員・保護者・地域が一体となり、徳・知・体の調和のとれた人間性豊かな、生きる力を備えた生徒を育成する。

教育は子どものためにある。「誰一人取り残すことなく、全ての生徒の可能性を引き出す教育」を推進する。そのためには、生徒の抱える困難が多様化・複雑化する中で、個別最適・協働的学びの一体的充実やインクルーシブ教育システムの推進による多様な教育ニーズへの対応、支援を必要とする生徒の長所・強みに着目する視点の重視、地域社会の国際化への対応、多様化、公平・公正、包摂性ある共生社会の実現に向けた教育の推進、ICT等の活用による学び・交流機会、アクセシビリティの向上など使命感に徹し、深い教育愛と豊かな指導力を身に付け、生徒・保護者から信頼される教育者を目指す。また、保護者や地域との連携・融合を強く持ちながら、特色ある地域とともにある学校づくりを推進する。

- ＜校訓＞
- 「友愛」…人を愛し、自然を愛する生徒（徳）
 - 「創造」…自ら学び、考え、創り出す生徒（知）
 - 「健康」…心身を鍛え、明るく活動する生徒（体）

2 学校教育目標

「我が早岐を誇りに思う生徒の育成」

＜めざす学校像＞

- 【は】花と緑に囲まれた居心地の良い学校＜安全・安心の学校＞
- 【い】生き生きと活動する学校＜生き生きとした学校＞
- 【き】気持ちのよい挨拶や言葉遣いができる学校＜心を育てる学校＞

＜めざす生徒像＞

- 1 人を愛し、自然を愛する生徒（徳）「友愛」
- 2 自ら学び、考え、創り出す生徒（知）「創造」
- 3 心身を鍛え、明るく活動する生徒（体）「健康」

＜めざす教師像＞

- 1 日常のあり方を大切にする信用・信頼される教師＜信＞
- 2 不断の学びによる不断の成長をする尊敬される教師＜敬＞
- 3 厳しさと優しさをもつ慕われる教師＜慕＞

3 生徒の行動目標（生徒会スローガン）

「青春開花 ～咲かせよう個性、認めよう多様性～」…令和6年度

一度しかない人生で、部活動も勉強も両立させ、青春を大切にしながら、自分自身の色である個性の花を咲かせ、その個性を認め合っていていきたいから。

4 学校教育目標の具現化に向けて

（1）めざす学校像の具現化のために

- ①【は】…花と緑に囲まれた居心地の良い学校＜安全・安心の学校＞
 - ・教育環境の基盤としての規律や秩序の維持
 - ・教育環境の充実と清掃活動の徹底
 - ・教育相談の充実…「いじめの防止・早期発見」「不登校の解消」
- ②【い】…生き生きと活動する学校＜生き生きとした学校＞
 - ・自己有用感を育てる学級活動、学校行事、生徒会活動の充実
 - ・自己肯定感を高めるJRC活動の推進と発信
- ③【き】…気持ちのよい挨拶や言葉遣いができる学校＜心を育てる学校＞
 - ・徳育推進…「お先にあいさつ」
 - ・言語環境の整備

（2）めざす生徒像の具現化のために

- ①人を愛し、自然を愛する生徒（徳）「友愛」
 - ・「特別の教科 道徳科」を基盤とする道徳教育の推進
「心豊かで、たくましく生き抜く生徒の育成をめざして」
 - ・環境学習、地域学習の充実
- ②自ら学び、考え、創り出す生徒（知）「創造」
 - ・明確なねらいに基づく「個別最適な学びと、協働的な学び」の実現
 - ・学習規律の確立と徹底
- ③心身を鍛え、明るく活動する生徒（体）「健康」
 - ・食育、健康教育、保健指導の充実
 - ・部活動、生徒を主体とした体育的行事の充実

（3）めざす教師像の具現化のために

- ①日常のあり方を大切にする信用・信頼される教師＜信＞
 - ・「後ろ姿の教育」…時を守り、場を清め、礼を正す
- ②不断の学びによる不断の成長をする尊敬される教師＜敬＞
 - ・「学び続ける教師」…研究、修養の充実
- ③厳しさと優しさをもつ慕われる教師＜慕＞「愛」「厳」「寛」
 - ・「生徒の幸せのために」…共通理解と共通実践、関係機関との連携

5 本年度の重点目標

(1) 「チーム早岐中」による組織対応力の充実

① 積極的な生徒指導の推進と自己指導能力の育成

生徒指導の4層のうち、特に課題予防的生徒指導（課題早期発見対応、課題未然防止教育）と発達支持的生徒指導の推進。

② 特別支援教育の充実

（ユニバーサルデザインの視点による生徒理解、授業づくり、学級づくりなど）

③ スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー

（SSW）、校内教育支援センター（SSR）支援員、関係機関との連携・調整

(2) 「特色ある学校づくり」の推進

① アスターコロナと新たな3学期制の検証を踏まえた実践

② 外部講師等の積極的な活用

③ 生徒の自治活動との連携…生徒会、専門委員会、学年等

(3) 地域とともにある学校づくりのために

① 保護者との連携の充実…日々の指導の中で「ちょっと連絡・報告・相談」

- ・ 生徒の家庭環境の確認と指導への連携
- ・ 正確な情報と迅速な連絡による誠意ある対応
- ・ 学校だより、学年だより、学級だより等の定期的な発行

② 地域との連携の充実…様子を知るために「ちょっとお出かけ」

- ・ ホームページによる情報発信
- ・ 自治協議会や健全育成会との連携
- ・ 学校評議員会や「花早会」（学校支援会議）の充実
- ・ JRC活動の推進と発信

③ 小中・中高連携の推進…指導に生かすために「ちょっと情報共有」

- ・ 中一ギャップの軽減（出前授業等）
- ・ 小中連絡会での引き継ぎ事項等の情報連携

(4) 校内研修の充実

① 明確なねらいに基づく「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現及び各種学力調査の結果分析と課題克服

② ICTの効果的な活用

③ 「特別の教科 道徳科」を基盤とする道徳教育の推進

「心豊かで、たくましく生き抜く生徒の育成をめざして」

④ 通常学級を含む特別支援教育の充実

⑤ 「学び続ける教師」としての、現職教育、伝達講習の充実

⑥ 「共に学ぶ」初任者研修、経年研修

(5) 「働きやすい職場環境づくり」の推進

- ① 「一人で抱え込まない、抱え込ませない」職員室
 - ・ 「チーム」で行う教科指導…指導情報の「連携」と「共有」
 - ・ 「チーム」で行う生徒指導…「剛」と「柔」
 - ・ 「チーム」で行う校務分掌…「縦」と「横」の連携
 - ・ 「チーム」で行う保護者対応…情報の共有による「複数対応」
 - ・ 「チーム」で行う不祥事根絶…お互いの声かけによる「同僚性」
- ② 「標準性」と「多様性」のバランスを考える
 - ・ 対立する構図から共存する構図へ
- ③ 「スクラップ」&「ビルド」
 - ・ 「過去の踏襲」の見直し
 - ・ 正確性を保ちながら、効率化の推進
- ④ 「部活動基本方針及びガイドライン」の徹底と、超勤の削減
- ⑤ 教職員一人一人のライフワークバランスの実現→ウェルビーイングの実現

【令和6年度の学校経営スローガン】

『一歩前に！』 ～心を形に、そして、凡事徹底から凡事一流へ～

〈心を形に〉

気持ちのよい挨拶、感謝の気持ち、仲間を大切にする
さらに、思いやりの気持ちを態度や行動で表すことができる生徒
の育成

〈凡事徹底から凡事一流へ〉

あたり前のことを誰よりも一生懸命やり続ける
さらに、考え、工夫し、応用することができる生徒の育成

【令和6年度の生活信条】

『凡事徹底！』 ～成功の鍵は、よき習慣にあり～